

面的評価支援システムの バージョンアップ方法

ver 5.3.0

令和7年7月

 環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課

目 次

1	面的評価支援システム ver5.3.0 のセットアップについて	1
2	G I S エンジンのセットアップ	3
3	面的評価支援システムのセットアップ	8
4	面的評価支援システム用データのバージョンアップ	11

※本マニュアルに記載されている Windows の画面例は、Windows 11 の環境で表示されたものです。

Windows 11 以外の OS をご利用の場合、画面の表示内容が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

1 面的評価支援システム ver5.3.0 のセットアップについて

面的評価支援システム ver5.3.0 のセットアップについて説明します。

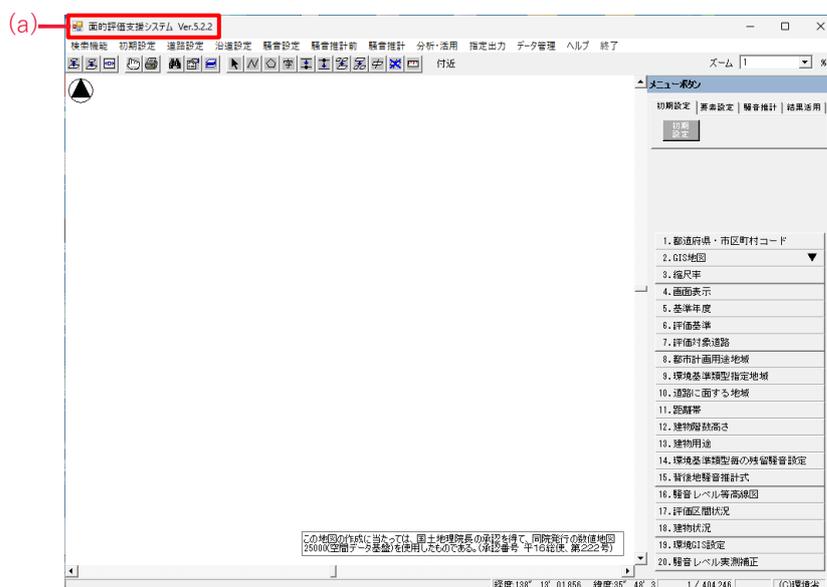
※今回初めて面的評価支援システムを導入される方は、面的評価支援システム操作マニュアル（本編）「II システムの導入と設定」（II-1 ページ）を参照してください。

■セットアップの全体フロー

1 セットアップの前にご用意いただくもの

- ① GIS エンジン ver2.29
 - ② 面的評価支援システム ver5.3.0
 - ③ 面的評価支援システム用データ（過年度データ）
 - ④ 面的評価支援システム用データバージョンアップツール※1※2
- ①②④の入手方法については、環境省 HP「自動車騒音常時監視支援について」を参照ください。環境省 HP：https://www.env.go.jp/air/car/noise/const_mon/index.html

※1：使用している面的評価支援システムのバージョンを確認してください。確認方法は、面的評価支援システムを起動した画面左上の表示(a)を確認してください。



※2：使用している面的評価支援システムのバージョンによって、「面的評価支援システム用データバージョンアップツール」が異なるため、※1で確認したバージョンに対応するバージョンアップツールを準備してください。

- 面的評価支援システム ver4.0.0 or ver4.1.0 を使用している方
 - ・MentekiDataUP_4_0_0-5_0_0
 - ・MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2
- 面的評価支援システム ver5.0.0 を使用している方
 - ・MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2
- 面的評価支援システム ver5.2.0 以降を使用している方は、面的評価支援システム用データのバージョンアップは必要ありません。





2 GIS エンジンのセットアップ (本マニュアル 3 ページ)



3 面的評価支援システムのセットアップ (本マニュアル 8 ページ)

●面的評価支援システム
ver4.0.0 or ver4.1.0 or ver5.0.0 を使用している方



4 面的評価支援システム用データのバージョンアップ

- 面的評価支援システム ver4.0.0 or ver4.1.0 を使用している方
 - ・ MentekiDataUP_4_0_0-5_0_0 の実行
 - ↓
 - ・ MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2 の実行
- 面的評価支援システム ver5.0.0 を使用している方
 - ・ MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2 の実行

(本マニュアル 11 ページ)

●面的評価支援システム
ver5.2.0 以降を使用している方



●面的評価支援システム ver5.2.0 以降を使用している方は、**システム用データ**のバージョンアップは必要ありません。

「GIS エンジン ver2.29 のセットアップ」及び「面的評価支援システム ver5.3.0 のセットアップ」を完了させた後、面的評価支援システム用データ ver5.2.0 をシステムの動作環境※に設定してください。

※面的評価支援システム操作マニュアル（本編）「1-7 面的評価支援システムの動作環境の設定」（II-16 ページ）参照

2 GIS エンジンのセットアップ

地方公共団体に配布する GIS エンジンのセットアップ方法について説明します。地方公共団体以外の方は、ご用意された GIS エンジンのマニュアルに従って、インストールを行ってください。

□ 操作フロー

既に古い GIS エンジン (ver2.28 以前) がインストールされている場合は、下記のフローに従って **古い GIS エンジンをアンインストール**してから新しい GIS エンジン (ver2.29) をインストールしてください。

2-1. 古い GIS エンジン (ver2.28 以前) のアンインストール



2-2. GIS エンジン (ver2.29) のセットアップ

2-1. 古い GIS エンジン (ver2.28 以前) のアンインストール

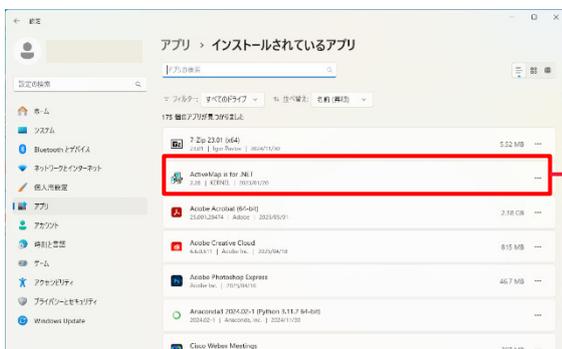
「① 設定」→ 「(画面②) アプリ」→ 「(画面③) インストールされているアプリ」の順にクリックし、「④ ActiveMap for .NET」を選択しアンインストールを行います。

画面②



(a) 「インストールされているアプリ」をクリックします。

画面③

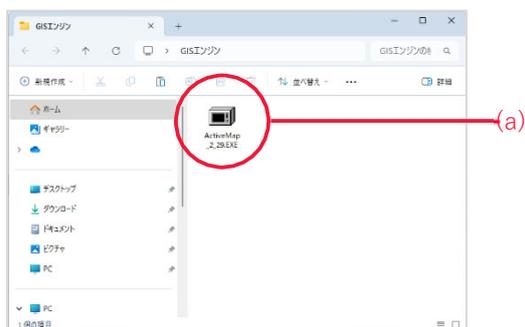


(b) 「ActiveMap for .NET」を選択します。

アンインストール作業が終わったら、2-2へ進みます。

2 - 2. GIS エンジン (ver2.29) のセットアップ

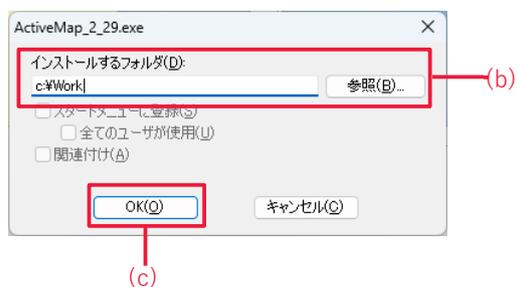
(1) GIS エンジンの解凍



- (a) 「ActiveMap_29.exe」をダブルクリックします。
➔ [Active Map for.NET] 解凍画面が表示されます。

注意

ファイルの解凍でエラーが出る場合は、ユーザーにファイルの「実行」や「変更（読み取り・書き込み）」の権限が付与されていない可能性があります。パソコンの管理者に相談し、権限をご確認ください。



- (b) [インストールするフォルダ] に解凍先フォルダ名を入力または参照ボタンを押して選択してください。

- (c) [OK] をクリックします。

➔ 下記のファイルが解凍されます。

- ・「AMSetup」
- ・「ClientPack」
- ・「Microsoft Access 再配布可能コンポーネント」

(2) .NET Framework の確認

「.NET Framework」の確認について説明します。

なお、既に「.NET Framework 4.x (4.6 以上)」がインストールされている場合は必要ありません。



(a) Windows の検索欄に「オプション機能」と入力します。

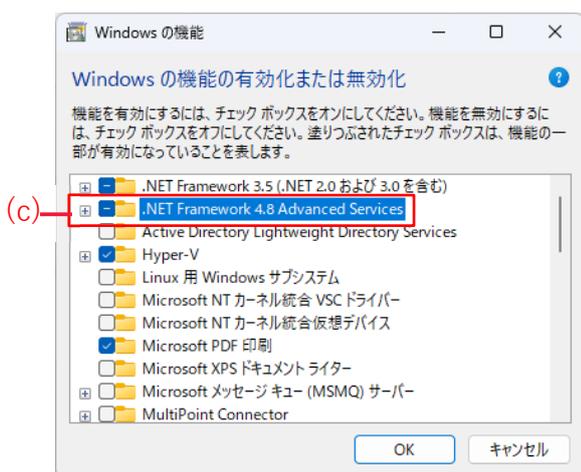
→ 「オプション機能」が表示されます。

※検索欄の位置は、Windows のバージョンによって異なりますが、スタートボタンの横や「設定」内に表示されている場合があります。



(b) 「Windows のその他の機能」をクリックします。

→ 「Windows の機能」が表示されます。



(c) 「.NET Framework 4.x (4.6 以上)」にチェックがない場合には、チェックを入れ、OK をクリックします。

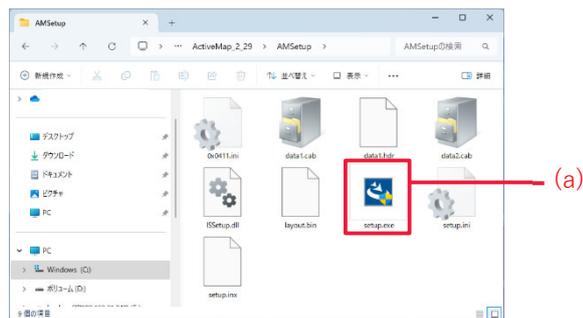
→ 「Windows の機能」の画面で、「Windows Update からファイルをダウンロードする」をクリックすると、自動的に必要なファイルのダウンロードが始まります。

注意

- ※1 「Windows Update からファイルをダウンロードする」には、インターネットへの接続が必要です。
- ※2 インターネットに接続できない場合は、マイクロソフトの HP から再頒布可能パッケージを入手し、外部記憶媒体等からインストールを行ってください。

(d) 必要な変更が完了したら、「閉じる」をクリックします。

(4) AMSetup のセットアップ



- (a) 解凍したフォルダ内から、「AMSetup」フォルダを開き、「setup.exe」を実行します。
→ [Active Map for. NET] のセットアップウィザード画面が表示されます。



- (b) **次へ** をクリックします。
→ Active Map for. NET の [インストール先の選択] 画面が表示されます。



- (c) **次へ** をクリックします。
→ [インストール準備完了] 画面が表示されます。



- (d) **インストール** をクリックします。
→ インストールが開始されます。



- (e) **完了** をクリックします。

以上で、GIS エンジンのセットアップは完了です。

3 面的評価支援システムのセットアップ

地方公共団体に配布する面的評価支援システムのセットアップ方法について説明します。

□ 操作フロー

既に古い面的評価支援システム（ver5.2.2 以前）がインストールされている場合は、下記のフローに従って古い面的評価支援システムをアンインストールしてから新しい面的評価支援システム（ver5.3.0）をインストールしてください。

3-1. 古い面的評価支援システム（ver5.2.2 以前）のアンインストール



3-2. 面的評価支援システム（ver5.3.0）のセットアップ

3-1. 古い面的評価支援システム（ver5.2.2 以前）のアンインストール

「① 設定」→ 「(画面②) アプリ」→ 「(画面③) インストールされているアプリ」の順にクリックし、「④ 面的評価支援システム」を選択しアンインストールを行います。

画面②



(a) 「アプリ」をクリックします。

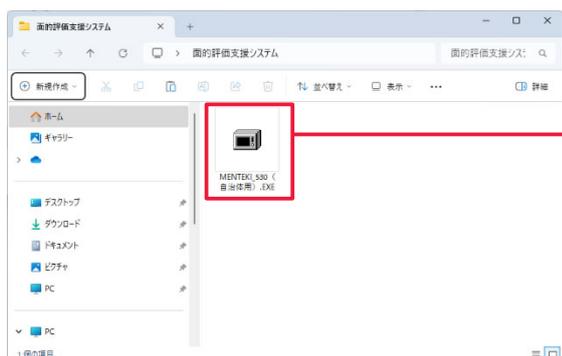
画面③



(b) 「面的評価支援システム」を選択します。

アンインストール作業が終わったら、3-2へ進みます。

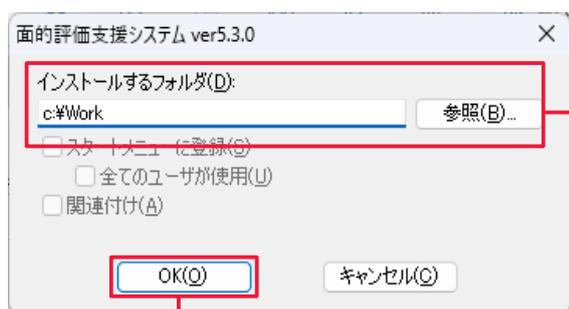
3-2. 新しい面的評価支援システムのインストール



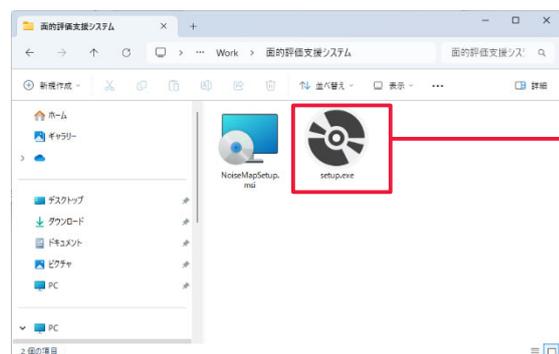
- (a) 「MENTEKI_530 (自治体用).EXE」を実行します。
→ [面的評価支援システム] 解凍画面が表示されます。

注意

ファイルの解凍でエラーが出る場合は、ユーザーにファイルの「実行」や「変更（読み取り・書き込み）」の権限が付与されていない可能性があります。パソコンの管理者に相談し、権限をご確認ください。



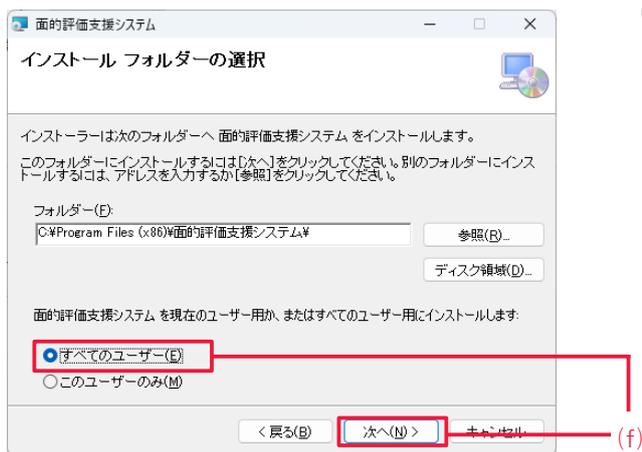
- (b) [インストールするフォルダ] に解凍先フォルダ名を入力または参照ボタンを押して選択してください。
(c) [OK] をクリックします。
→ ファイルが解凍されます。



- (d) 上記手順で解凍したフォルダ内から、「Setup.exe」を実行します。
→ [面的評価支援システム セットアップウィザード] 画面が表示されます。

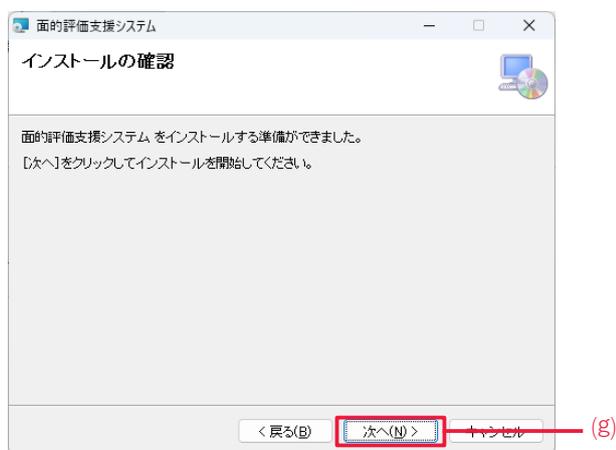


- (e) [次へ] をクリックします。
→ [インストールフォルダーの選択] 画面が表示されます。



(f) 「すべてのユーザー」をチェックし、**次へ** をクリックします。

→ [面的評価支援システム] のインストールの確認画面が表示されます。



(g) **次へ** をクリックします。

→ [面的評価支援システム] のインストールの完了画面が表示されます。



(h) **閉じる** をクリックします。

以上で、面的評価支援システムのセットアップは完了です。

4 面的評価支援システム用データのバージョンアップ

面的評価支援システム用データのバージョンアップについて説明します。

面的評価支援システム ver5.3.0 において既存データを使用するためには、面的評価支援システム用データのバージョンを ver5.2.0 へアップデートする必要があります。使用している面的評価支援システムのバージョンにより作業が異なります。

○使用している面的評価支援システムのバージョンが ver4.0.0 または ver4.1.0 の場合は、初めにシステム用データのバージョンを ver5.0.0 へアップデート (ver4.0.0 ⇒ ver5.0.0) してください。続いて、システム用データのバージョンを ver5.2.0 へアップデート (ver5.0.0 ⇒ ver5.2.0) してください。

(下記 4-1、4-2 の作業を実施)

○使用している面的評価支援システムのバージョンが ver5.0.0 の場合は、システム用データのバージョンを ver5.2.0 へアップデート (ver5.0.0 ⇒ ver5.2.0) してください。(下記 4-2 の作業を実施)

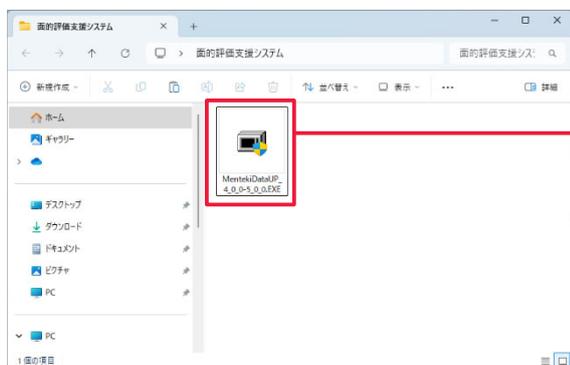
○使用している面的評価支援システムのバージョンが ver5.2.0 以降の場合は、面的評価支援システム用データのバージョンアップは必要ありません。(本項の作業は実施不要)

4-1. システム用データを ver4.0.0 ⇒ ver5.0.0 へアップデート

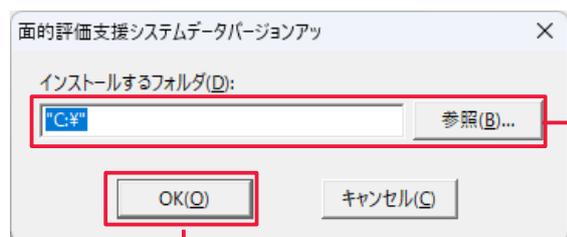


4-2. システム用データを ver5.0.0 ⇒ ver5.2.0 へアップデート

4-1. システム用データを ver5.0.0 へアップデート (ver4.0.0 ⇒ ver5.0.0)

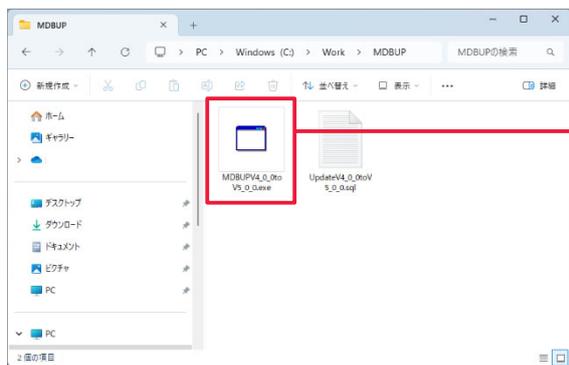


(a) 面的評価支援システム用データバージョンアップツール「MentekiDataUP_4_0_0-5_0_0.exe」と「MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2.exe」を用意してください。はじめに、MentekiDataUP_4_0_0-5_0_0.exe を実行してください。



(b) [インストールするフォルダ] に解凍先フォルダ名を入力または参照ボタンを押して選択します。

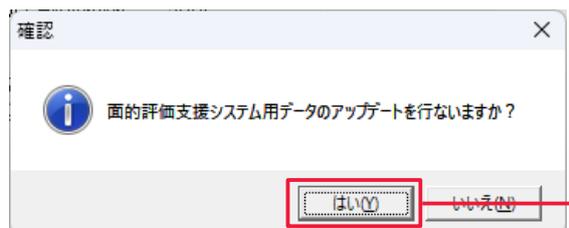
(c) [OK] をクリックします。



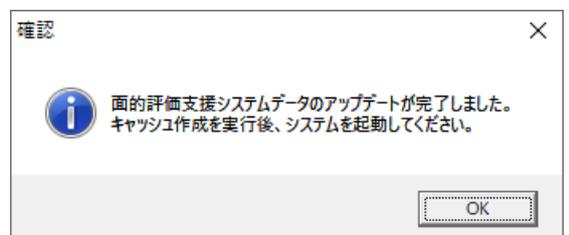
(d) 「MDBUPV4_0_0toV5_0_0.exe」を実行してください。



(e) アップデートを行う面的評価支援システム用データ「dorodb.mdb」の参照パスを入力又は参照ボタンをクリックして対象のファイルを選択してください。

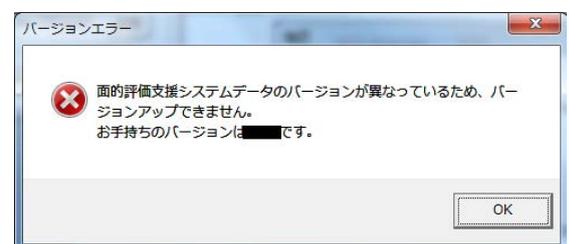


(f) アップデートの実行の確認メッセージが表示されるので「はい」を選択し、実行してください。



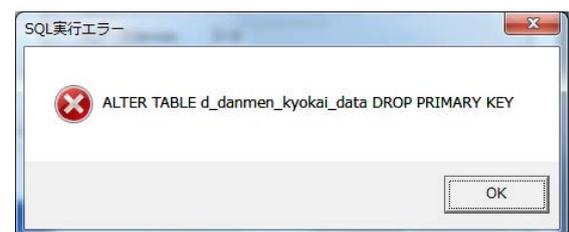
(g) アップデートが正常に行われた場合、確認メッセージが表示されます。また、旧バージョンのファイルはバックアップファイルとして保存されます。

バックアップファイル名：dorodb.mdb.ver.4.*.*



注意

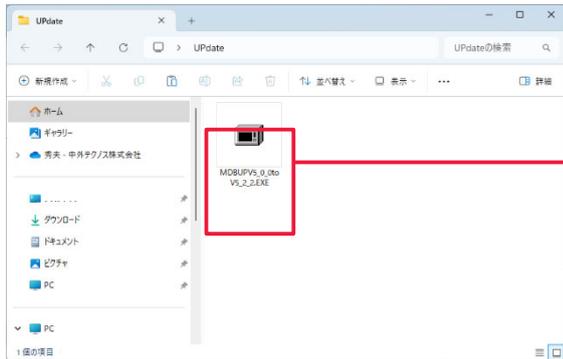
指定した面的評価支援システム用データのバージョンがver.4.0.0でない場合、次のようなエラーが表示されます。正しいバージョンのデータを指定し、再度実行してください。



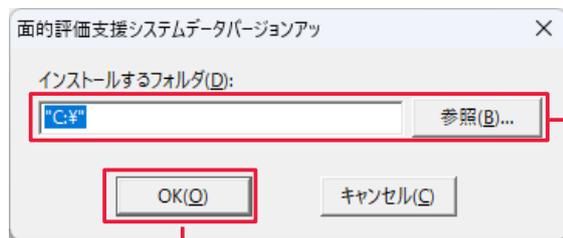
注意

「SQL 実行エラー」が表示された場合、ユーザーにファイルの「実行」や「変更(読み取り・書き込み)」の権限が付与されていない可能性があります。パソコンの管理者に相談し、権限をご確認ください。権限が正しく設定されていてもエラーが発生する場合は、データベースに不具合がある可能性があります。入力したデータに誤りがないかご確認ください。

4-2. システム用データを ver5.2.0 へアップデート (ver5.0.0 ⇒ ver5.2.0)



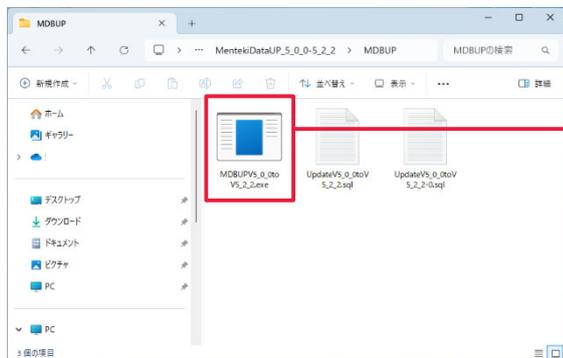
(a) 面的評価支援システム用データバージョンアップツール「MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2.exe」を用意してください。
MentekiDataUP_5_0_0-5_2_2.exe を実行してください。



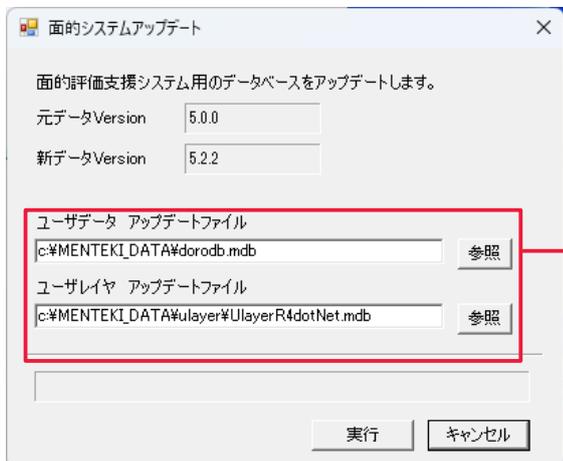
(b) [インストールするフォルダ] に解凍先フォルダ名を入力または参照ボタンを押して選択します。



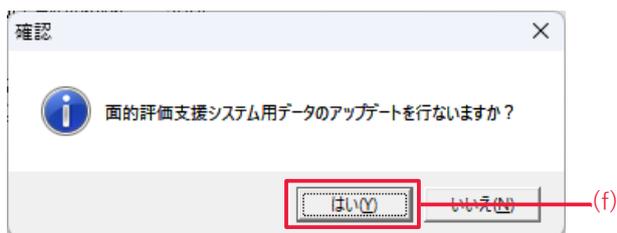
(c) [OK] をクリックします。



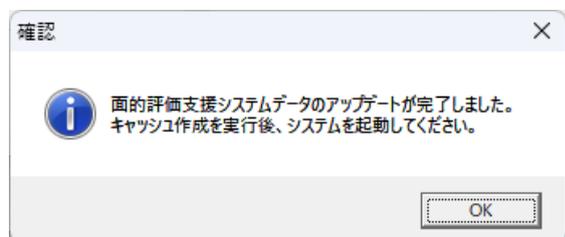
(d) 「MDBUPV5_0_0toV5_2_2.exe」を実行してください



(e) アップデートを行う面的評価支援システム用データ「dorodb.mdb」と「UlayerR4dotNet.mdb」の参照パスを入力又は参照ボタンをクリックして対象のファイルを選択してください。



(f) アップデートの実行の確認メッセージが表示されるので「はい」を選択し、実行してください。



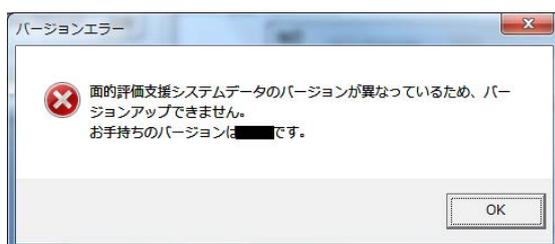
(g) アップデートが正常に行われた場合、確認メッセージが表示されます。また、旧バージョンのファイルはバックアップファイルとして保存されます。

バックアップファイル：dorodb.mdb.ver.5.0.0

UlayerR4dotNet.MDB.ver.5.0.0

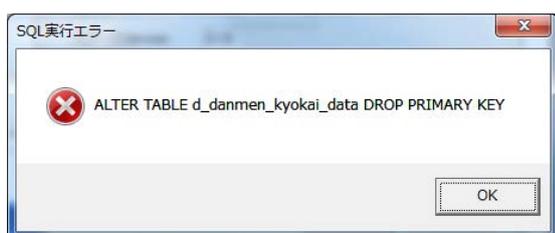
注意

システム用データのバージョンアップには時間がかかる場合があります。入力されているデータの大きさ、パソコンのスペックによって、処理に数時間から十数時間かかることもあります。



注意

指定した面的評価支援システム用データのバージョンが ver.4.0.0 でない場合、次のようなエラーが表示されます。正しいバージョンのデータを指定し、再度実行してください。



注意

「SQL 実行エラー」が表示された場合、ユーザーにファイルの「実行」や「変更（読み取り・書き込み）」の権限が付与されていない可能性があります。パソコンの管理者に相談し、権限をご確認ください。権限が正しく設定されていてもエラーが発生する場合は、データベースに不具合がある可能性があります。入力したデータに誤りがないかご確認ください。

以上で、面的評価支援システム用データのバージョンアップは完了です。